

株式会社アドウェイズ
2012年3月期 第3四半期決算説明会
(東証マザーズ2489)

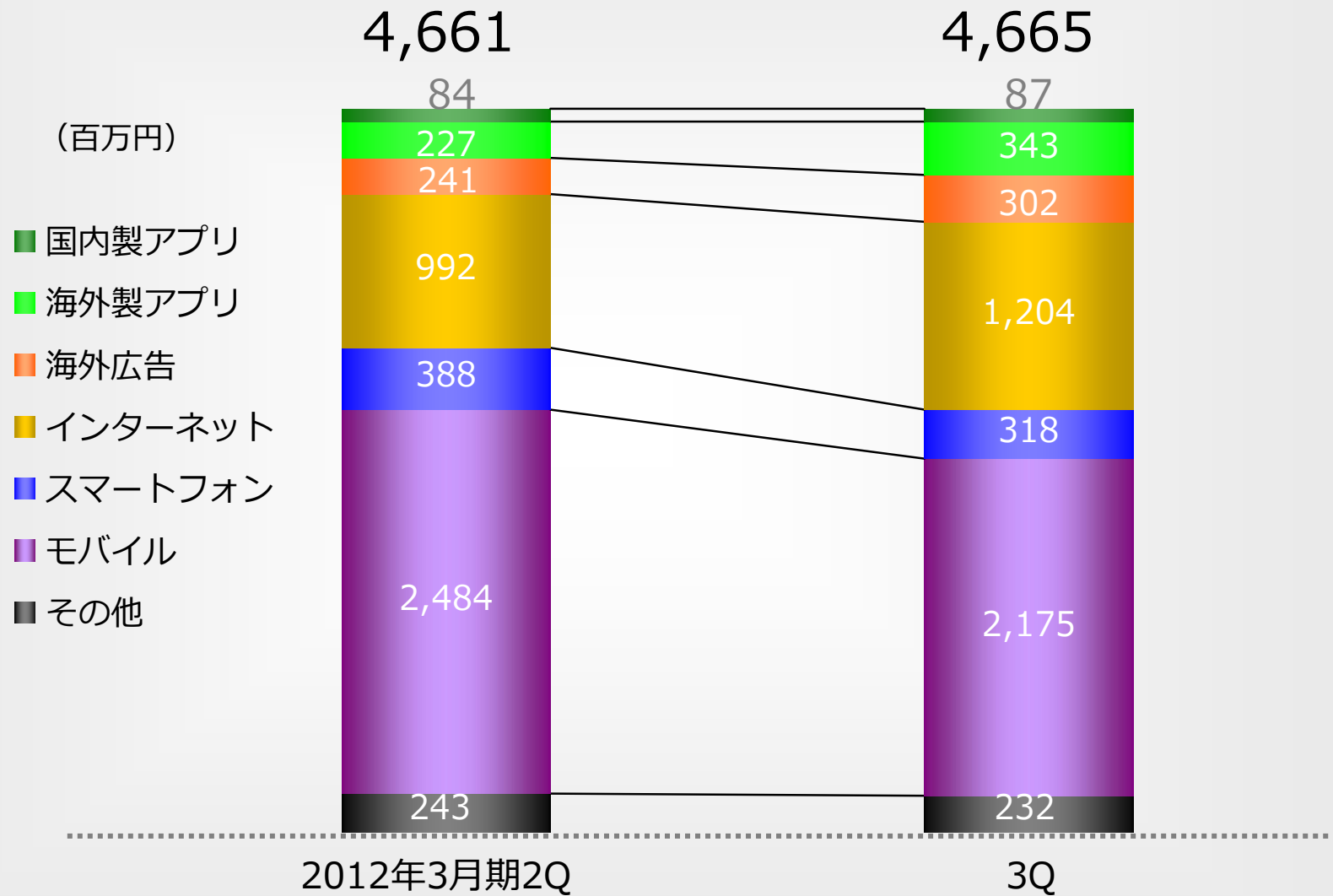
2012年2月3日

代表取締役社長 岡村陽久

目次

1. 当四半期の業績	・・・ P.3
2. 事業の概況と今後の展開	・・・ P.9
(1) スマートフォン広告事業	・・・ P. 10
(2) アプリ事業	・・・ P. 11
(3) 海外事業	・・・ P. 13
3. 通期実績予想	・・・ P.15
4. 配当について	・・・ P.17
5. 補足資料	・・・ P.19

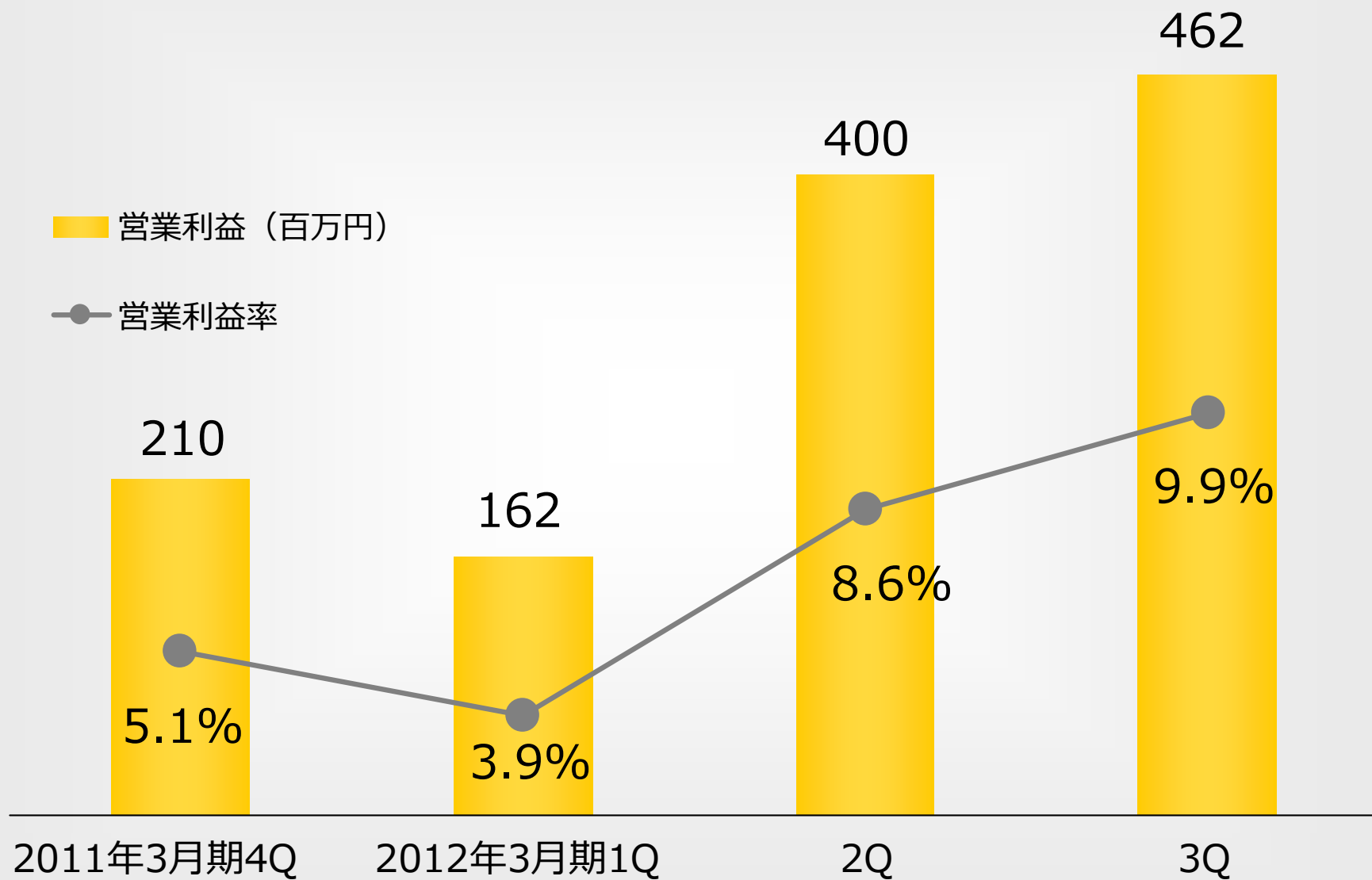
1.当四半期の業績 ～売上高



1. 当四半期の業績～売上高

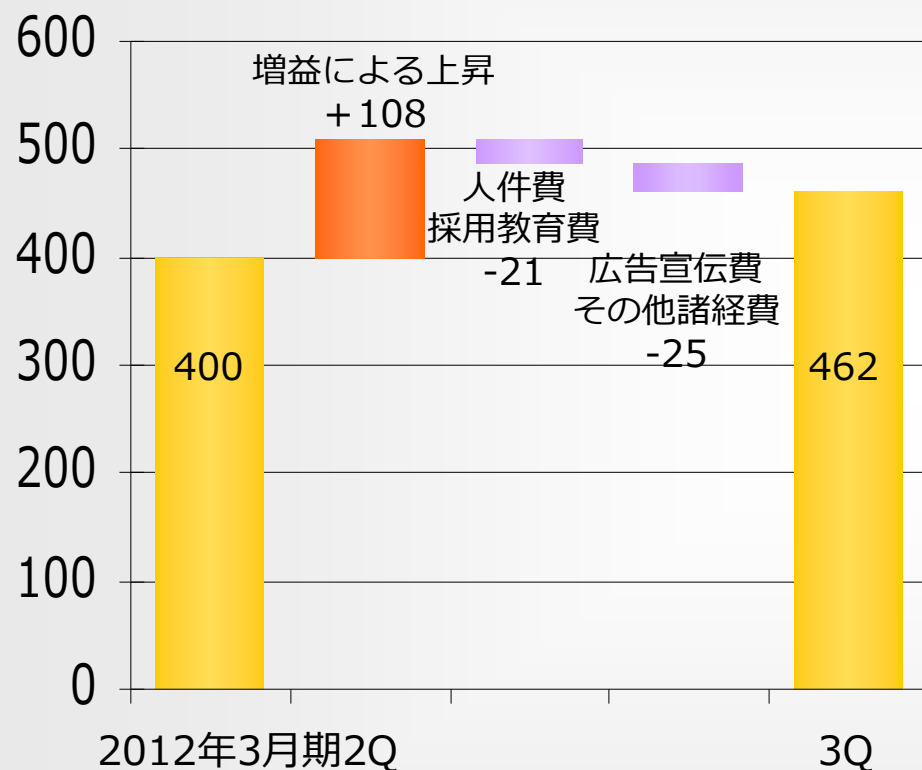
- 国内広告事業全体の売上高は前四半期比1億66百万円の減少。
モバイルで3億9百万円減、スマートフォンで70百万円減。
一方でインターネット広告は2億12百万円の増加。
- アプリ事業全体の売上高は前四半期比1億19百万円の増加。
- 海外広告事業の売上高は前四半期比60百万円の増加。

1.当四半期の業績 ～営業利益



1.当四半期の業績 ～営業利益

■ 前四半期比較



(単位：百万円)

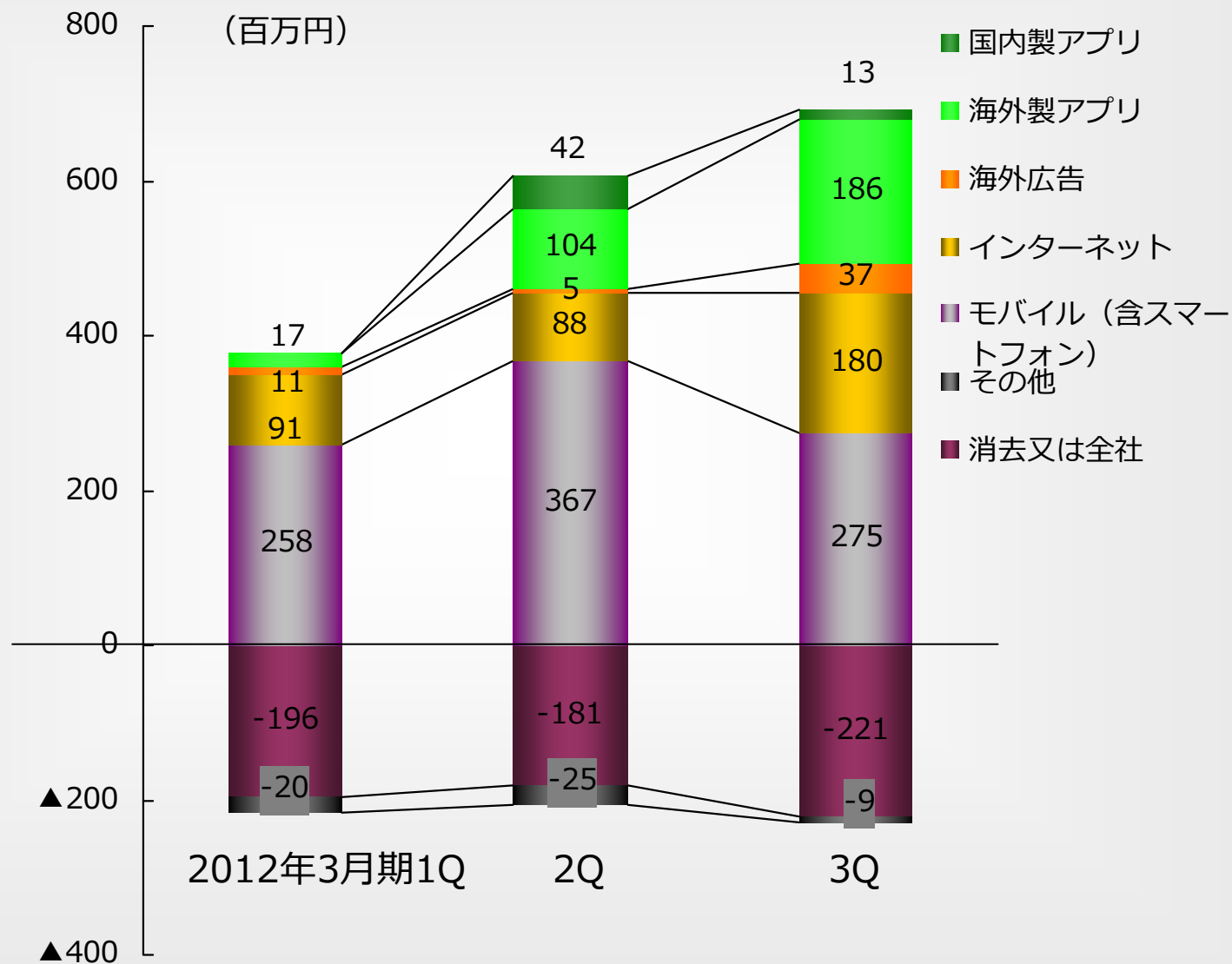
中国子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2012年3月期第3四半期の連結決算対象は7月～9月となります。

当四半期の営業利益は、引き続きアプリが好調に推移した事により、**前四半期比で61百万円（前四半期比15.3%）増加**しました。

主な要因は以下になります。

- ・ アプリの売上の好調
- ・ インターネットの売上の好調
- ・ 人件費および採用等の諸費用の増加

1.当四半期の業績 ～セグメント内識別の営業利益



前四半期との比較

- 国内広告事業（モバイル・インターネット）は前四半期と同水準を維持。
モバイル（含スマートフォン）で前四半期から92百万円の減少し、インターネットで92百万円の増加。
- アプリ事業は前四半期比53百万円の増加。
- 海外広告事業は前四半期比32百万円の増加。

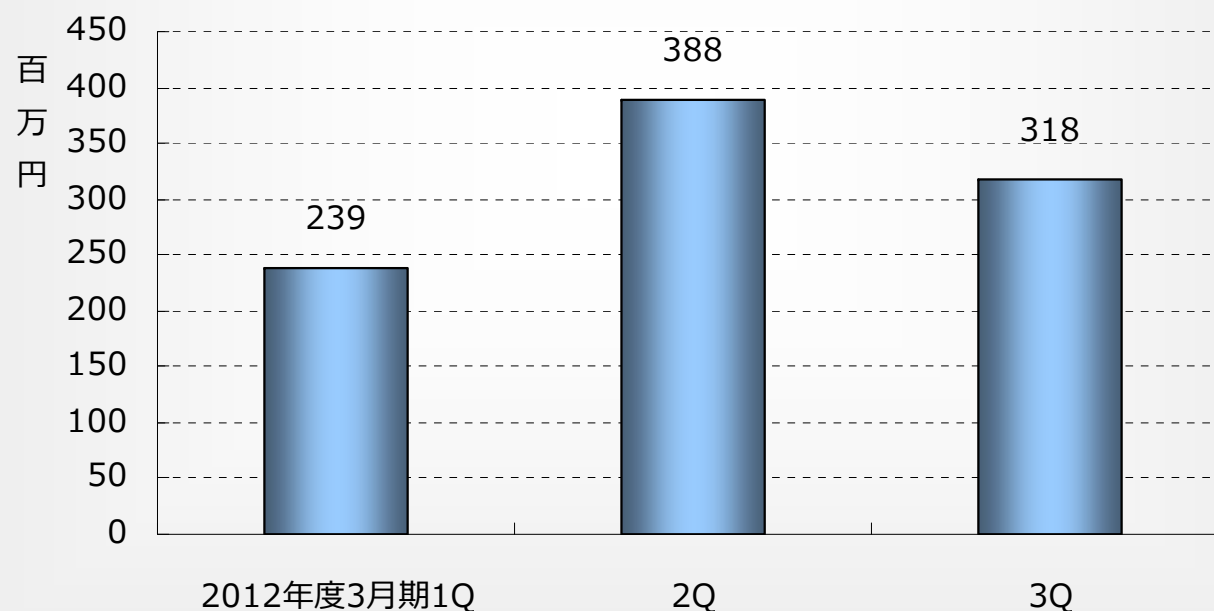
■ 今後の注力事業

- ① スマートフォン広告事業
- ② アプリ事業
- ③ 海外事業

スマートフォン広告事業の概況

当四半期のスマートフォン広告の取扱高は3億18百万円。
'11年12月の月間取扱高は1億4千万円超で拡大傾向を維持。

スマートフォン広告取扱高の推移

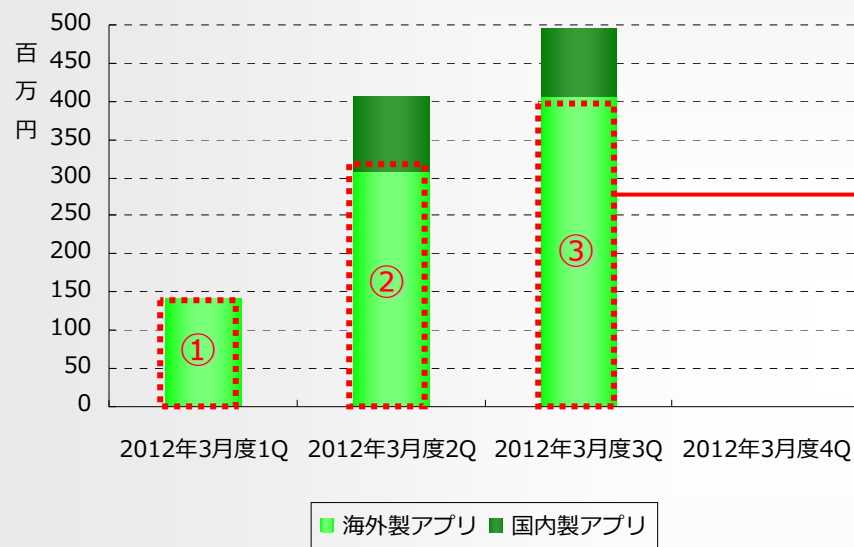


※前四半期は特殊要因のため増加しています。

⇒広告効果測定機能を追加して純広告販売にも注力！

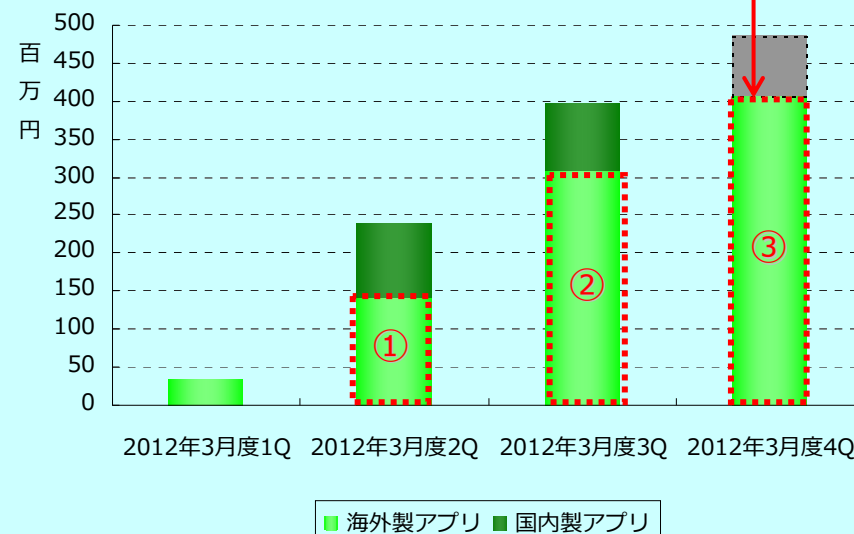
アプリ事業の概況

売上発生期間のグロス売上



当四半期に発生している海外製アプリの売上は、第4四半期に計上。

会計期間のグロス売上



※本データは課金売上（ストア手数料含む）と広告収入の合算値を取り出したもので、会計上の売上数値と異なります。

アプリ事業の展開

ラインアップを拡充しゲーム分野を拡大。

コアユーザー対象
のラインアップ



カイブツクロニクル
(アドウェイズ)
トップセールスランキン
グ最高1位を獲得。

iOS 2011年1月リリース
Android 2011年4月リリース



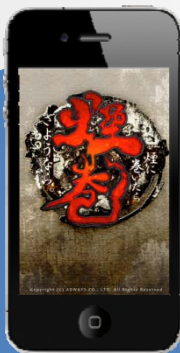
小悪魔キャバ嬢らいふ
(ラビオンソーシャル)
トップセールスランキン
グ最高2位を獲得。

iOS 2011年6月リリース
Android 2011年11月リリース



「タワーオブドラゴン」
(ラビオンソーシャル)

iOS
2012年1月31日リリース



「煙にまいたらさようなら。」
「ヒーロー：ヒストリー」
(アドウェイズ)

iOS 2011年7月リリース
Android 2011年11月リリース



「ヒーロー：ヒストリー」
(アドウェイズ)

iOS 2011年10月リリース
Android 2011年12月リリース



「スペースクロニクル for
GREE」(アドウェイズ)

iOS 2011年12月
リリース



「シクヨロのきーやん」
(ラビオンソーシャル)

iOS
2012年2月中リリース予定



コンテンツ会社
と提携

「7 セブン サウンドウォーズ」
(バンダイナムコゲームスと共同開発)

©2011 NAMCO
BANDAI Games Inc.
Image Art & Logo
Tadahiko Kawaguchi

iOS 2011年10月リリース

海外事業の概況

アジアの成長市場と米国に拠点を拡大。



海外事業の展開

- 2011年11月に伊藤忠商事が当社自己株式4,689株を取得し、同社の出資比率20.4%の持分法適用関連会社に。アジアのネット・スマートフォン分野での協業を加速。
- 台湾においてWEBサービスを提供開始。
- シンガポール子会社「Adways Innovations Singapore」を設立（2011年12月）。
- 昨年8月に調査拠点を設置した米国カリフォルニア州で子会社を設立（今年度予定）。

3.通期業績予想

3. 通期業績予想

◇2012年3月期連結業績予想数値（2011年4月1日～2012年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回業績予想 (A)	18,000	1,400	1,430	900
前回業績予想 (B)	17,650	1,120	1,150	690
差異 (A-B)	+ 350	+ 280	+ 280	+ 210
増減率 (%)	2.0%	25.0 %	24.3 %	30.4 %

※小数点第2位を切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第3四半期実績 (C)	13,490	1,025	1,044	692
進捗率 (C÷A)	74.9%	73.2%	73.0%	76.8%

※小数点第2位を切捨て

4. 配当について

4. 配当について

◇基本方針

「株主への安定した利益の還元」

今期はスマートフォン向けゲームアプリが大幅に成長し、当初予想を大幅に上回る結果で推移しております。中長期的な成長に向けた基盤の整備も同時に進んでいることから、株主の皆様のご支援にお応えするため、初めての株主配当を実施させていただくことといたしました。

今回は連結当期純利益の11%を配当性向の目処とし、
1株当たり1,230円の期末配当予定。

5.補足資料

【四半期】 連結損益計算書（前年同期比）

(単位：百万円)

	2012年3月期 3Q	2011年3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	4,665	3,832	+832	+21.7%
売上総利益	1,090	632	+457	+72.3%
売上総利益率	23.4%	16.5%	+6.9ポイント	-
販管費	628	480	+147	+30.7%
販管费率	13.5%	12.5%	+1.0ポイント	-
営業利益	462	152	+310	+203.6%
営業利益率	9.9%	4.0%	+5.9ポイント	-
経常利益	469	146	+322	+220.6%
四半期純利益	344	59	+285	+477.2%

【四半期】 連結損益計算書（前四半期比）

(単位：百万円)

	2012年3月期 3Q	2012年3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	4,665	4,661	+3	+0.1%
売上総利益	1,090	981	+108	+11.1%
売上総利益率	23.4%	21.1%	+2.3ポイント	-
販管費	628	580	+47	+8.1%
販管费率	13.5%	12.5%	+1.0ポイント	-
営業利益	462	400	+61	+15.3%
営業利益率	9.9%	8.6%	+1.3ポイント	-
経常利益	469	403	+65	+16.2%
四半期純利益	344	253	+91	+36.2%

【累計】 連結損益計算書（前年同期比）

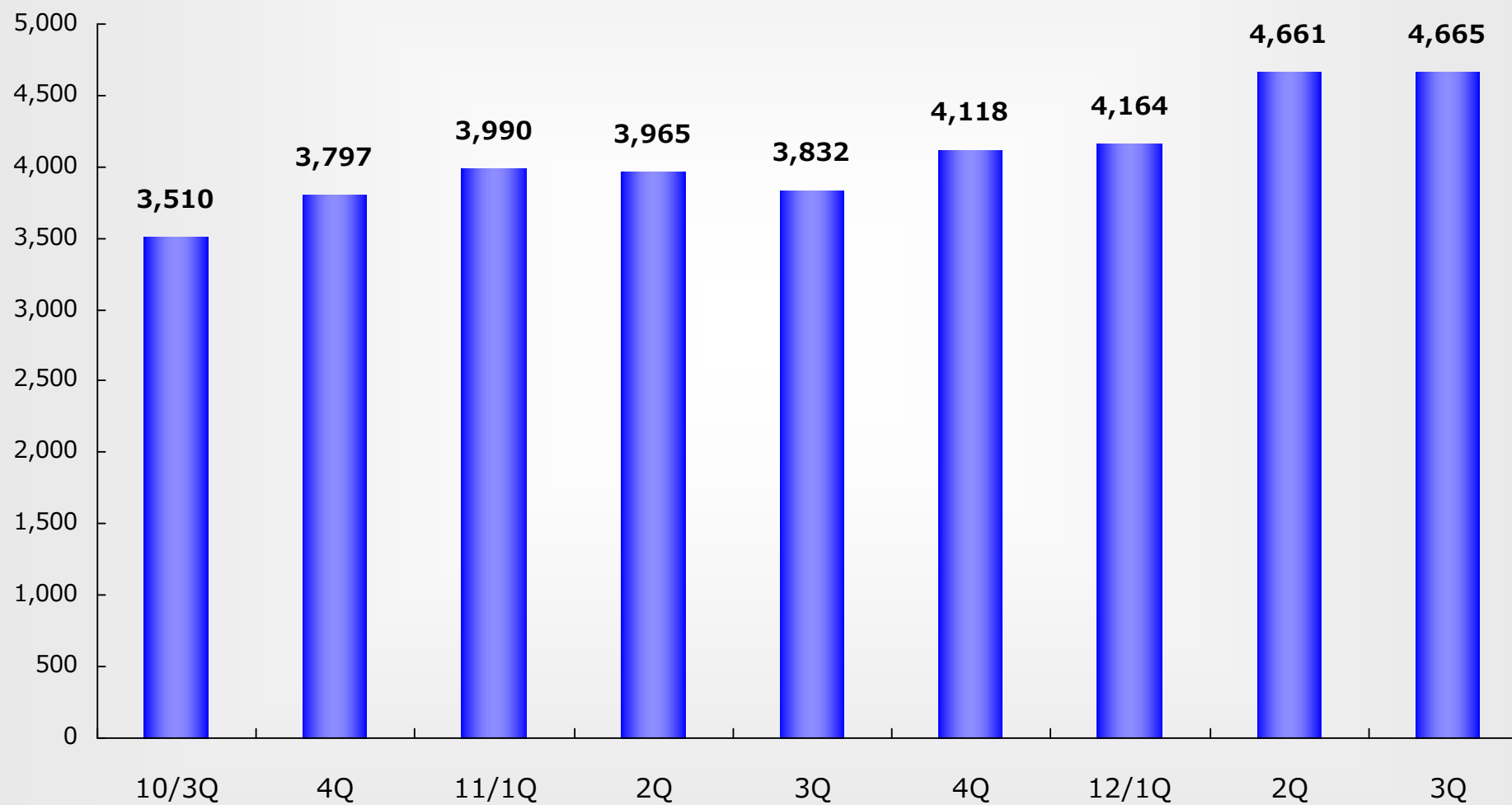
(単位：百万円)

	2012年3月期 3Q	2011年3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	13,490	11,788	+ 1,702	+ 14.4%
売上総利益	2,816	2,021	+ 795	+ 39.3%
売上総利益率	20.9%	17.1%	+ 3.8ポイント	-
販管費	1,790	1,371	+ 418	+ 30.5%
販管费率	13.3%	11.6%	+ 1.7ポイント	-
営業利益	1,025	649	+ 376	+ 58.0%
営業利益率	7.6%	5.5%	+ 2.1ポイント	-
経常利益	1,044	646	+ 397	+ 61.4%
四半期純利益	692	325	+ 366	+ 112.5%

5.補足資料

連結売上高 四半期推移

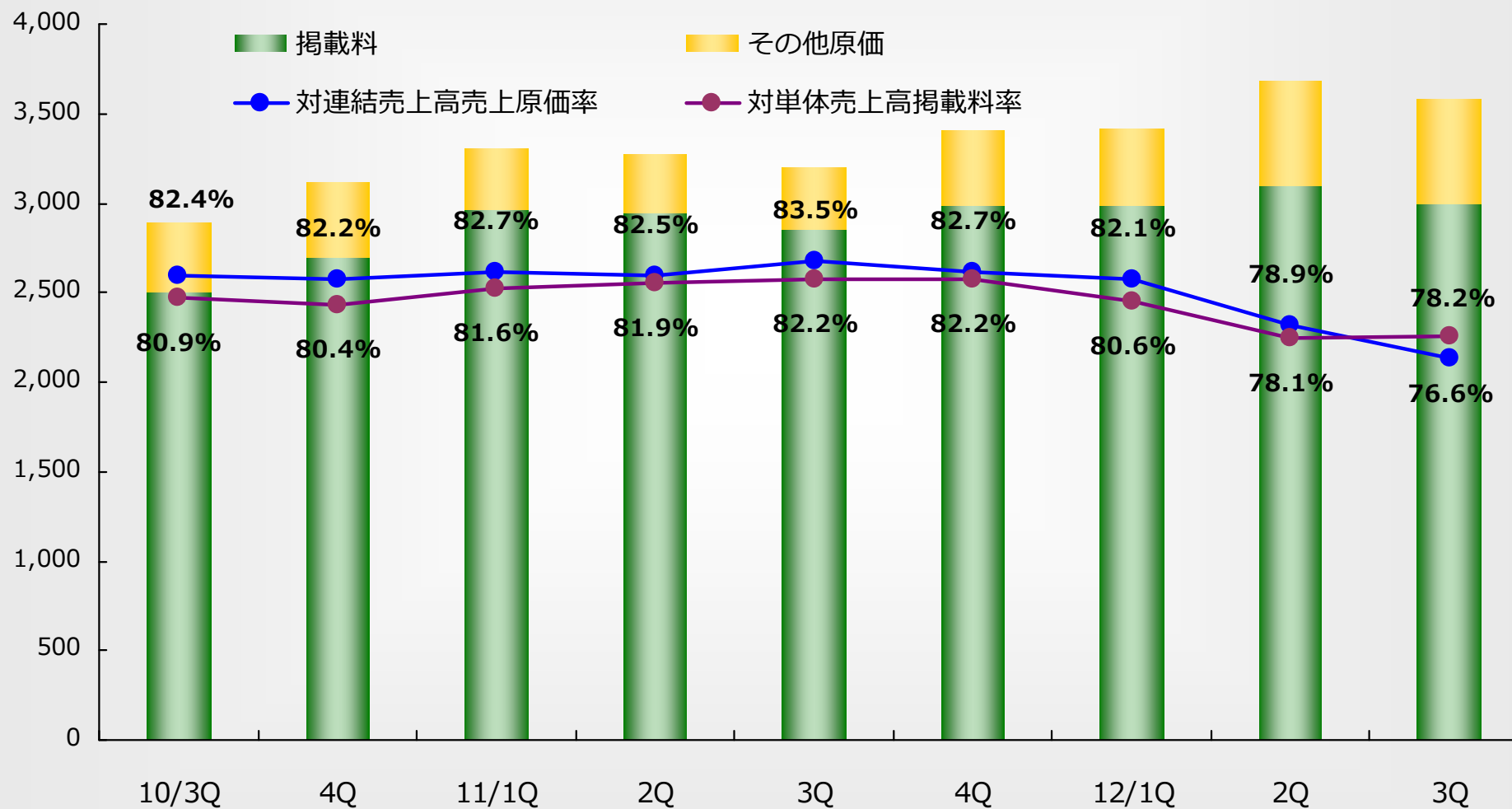
(単位：百万円)



5.補足資料

連結売上原価 四半期推移

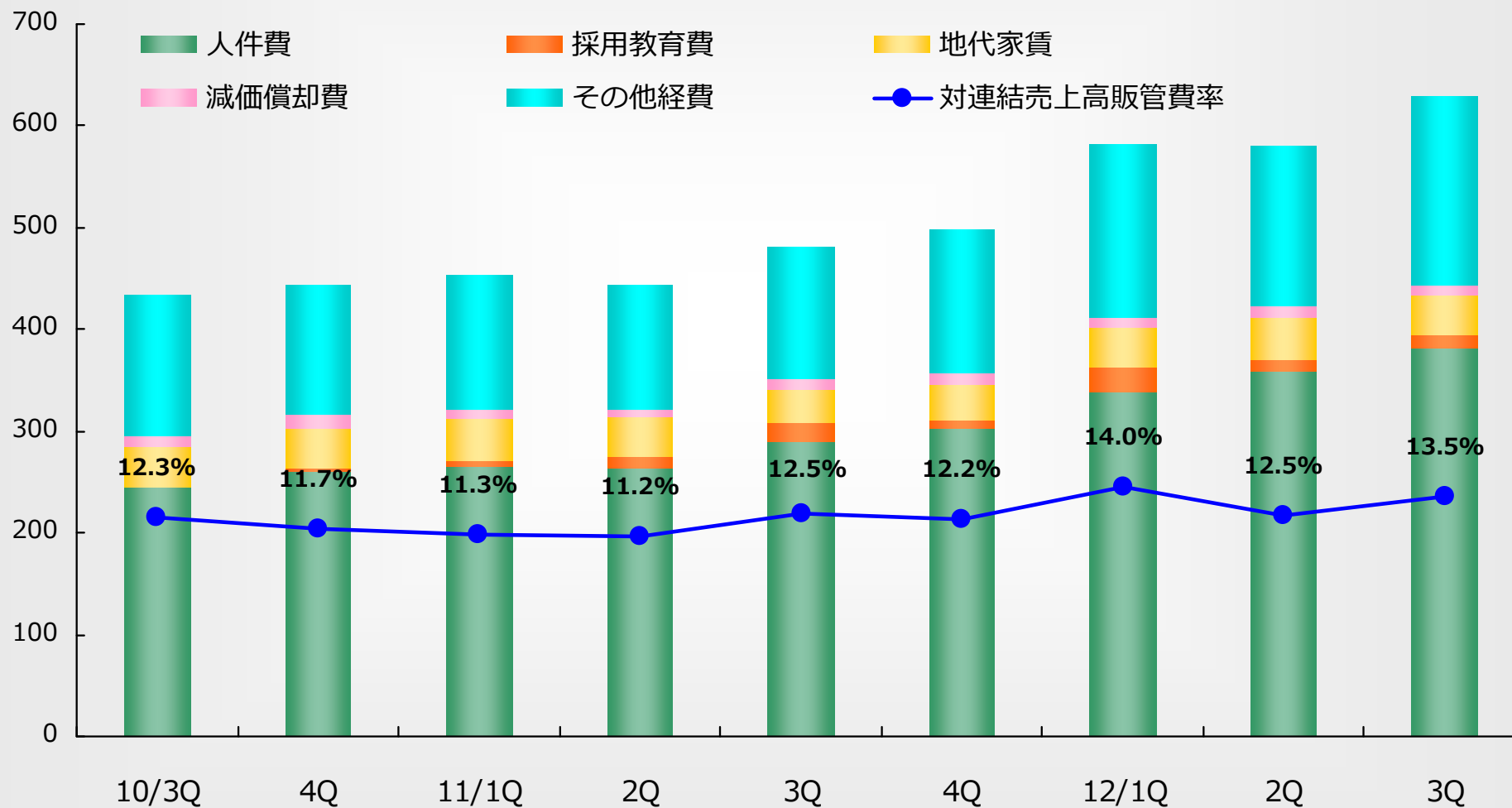
(単位：百万円)



5.補足資料

連結販管費 四半期推移

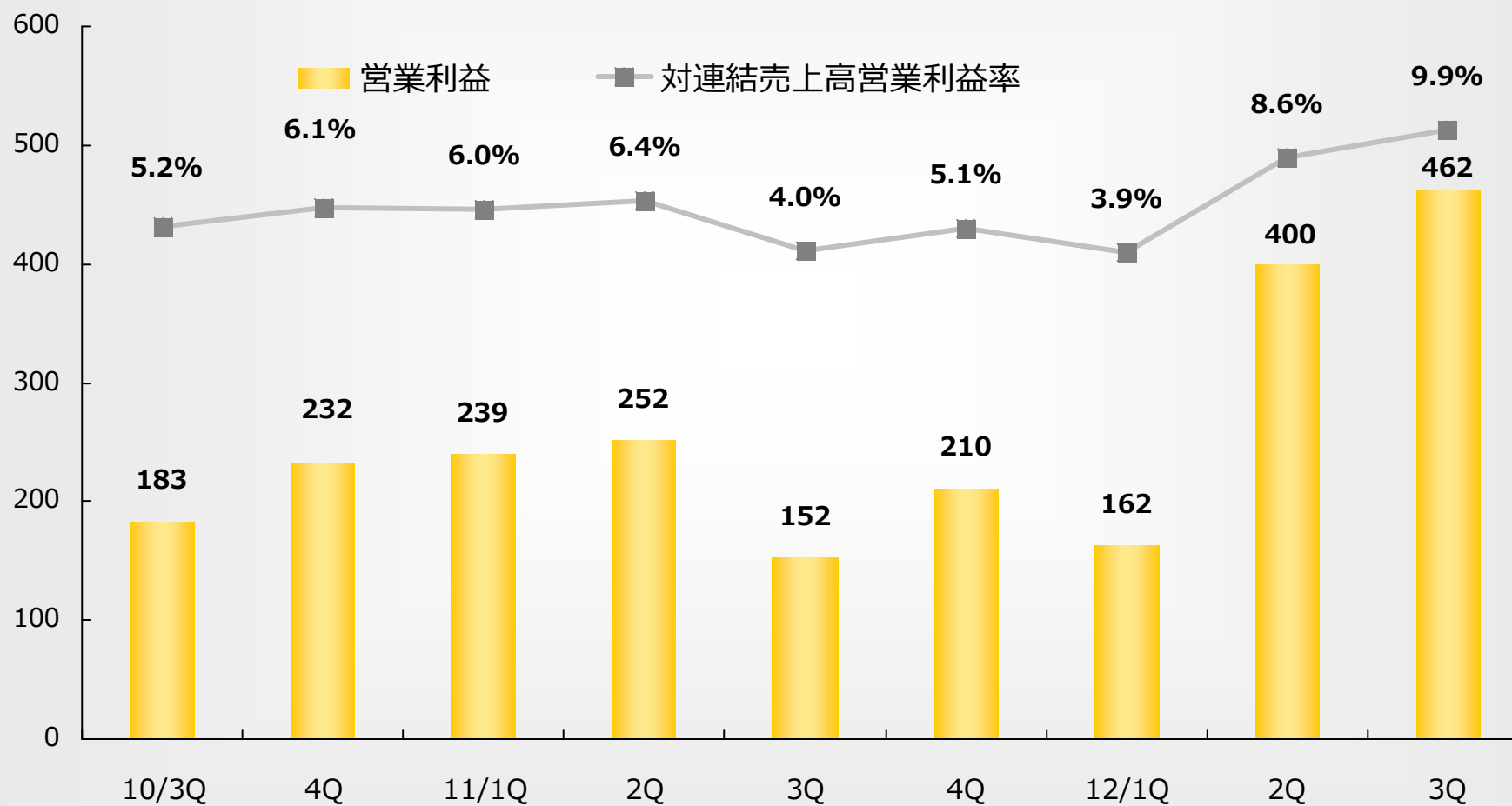
(単位：百万円)



5.補足資料

連結營業利益 四半期推移

(単位：百万円)



連結貸借対照表（前四半期比）

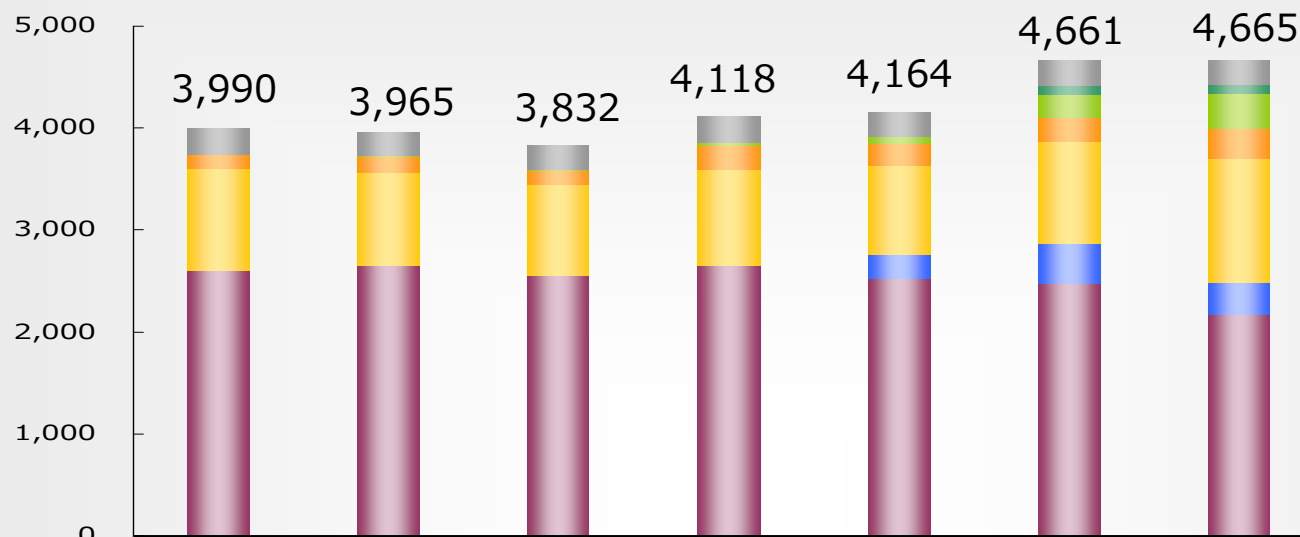
（単位：百万円）

	2012年3月期 3Q	2012年3月期 2Q	増減額	増減率
流動資産	6,386	5,618	+768	+13.7%
（現預金）	3,555	2,758	+796	+28.9%
固定資産	1,032	1,020	+11	+1.1%
総資産合計	7,419	6,639	+780	+11.7%
流動負債	2,582	2,739	▲157	▲5.7%
（1年以内返済予定 長期借入金）	-	-	-	-
固定負債	36	40	▲3	▲8.9%
負債合計	2,619	2,780	▲160	▲5.8%
純資産合計	4,800	3,859	+940	+24.4%

5.補足資料

セグメント内識別連結売上高構成比四半期推移

(単位：百万円)

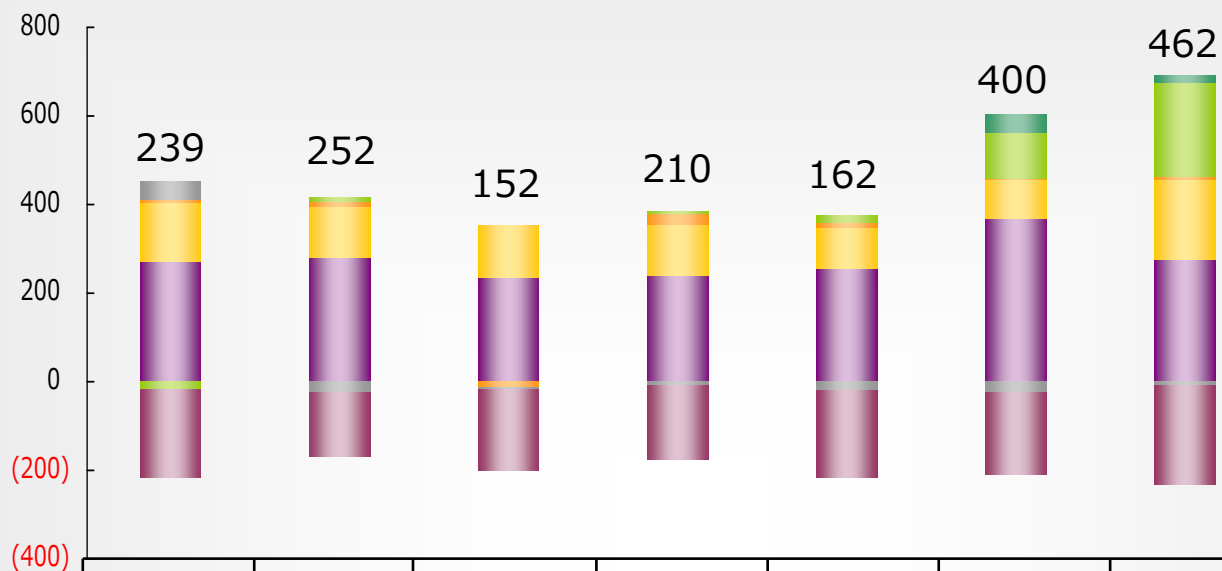


								前四半期比	
	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	増減額	増減率
■ モバイル	2,609	2,658	2,557	2,659	2,526	2,484	2,175	▲309	▲12.4%
■ スマートフォン	—	—	—	—	239	388	318	▲70	▲18.0%
■ インターネット	998	910	894	933	870	992	1,204	+212	+21.4%
■ 海外広告	130	155	130	237	215	241	302	+60	+25.2%
■ 海外製アプリ	4	11	16	31	76	227	343	+116	+51.3%
■ 国内製アプリ	—	—	—	—	—	84	87	+2	+3.1%
■ その他CP等	248	228	233	256	235	243	232	▲10	▲4.3%
合計	3,990	3,965	3,832	4,118	4,164	4,661	4,665	+3	+0.1%

当四半期より開示セグメントが変更となり、開示上はモバイル、スマートフォン、インターネットなど国内広告事業は広告事業となっております。

5.補足資料

セグメント内識別連結営業利益構成比四半期推移 (単位：百万円)

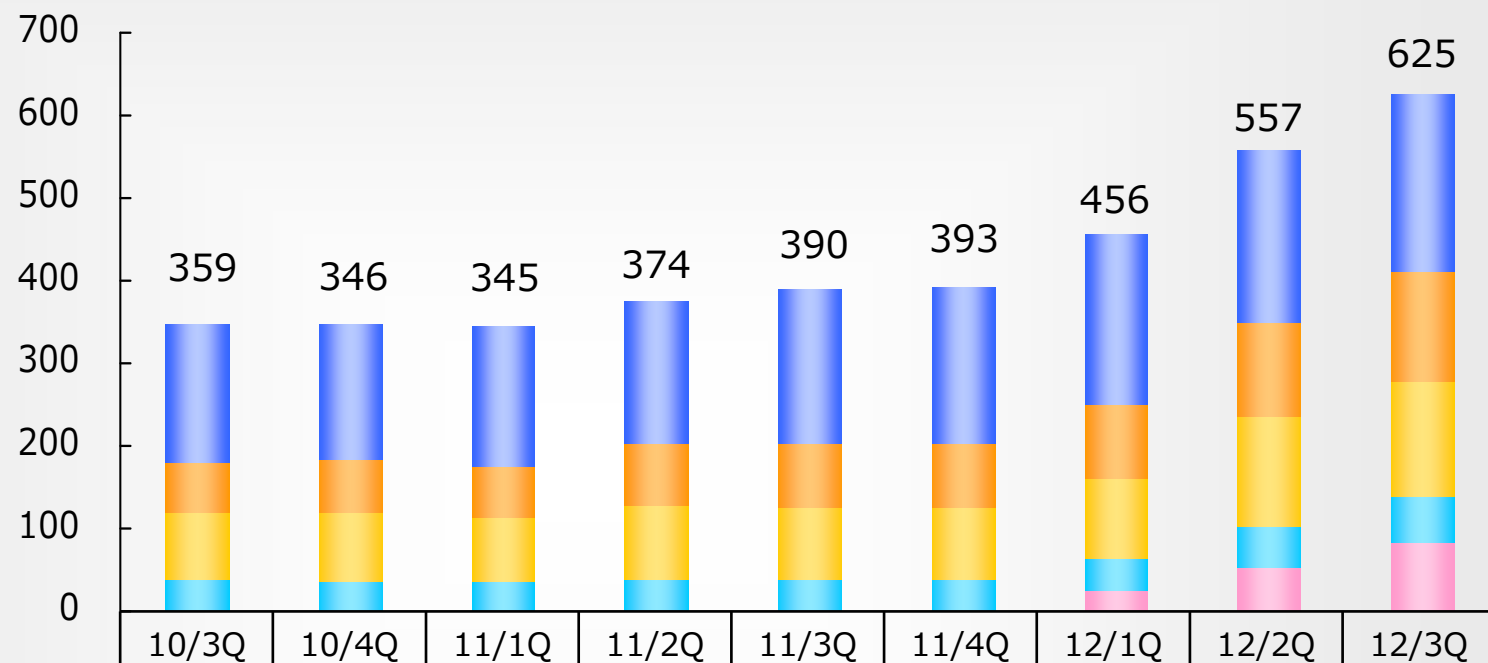


	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	前四半期比	
								増減額	増減率
モバイルスマートフォン	272	281	238	239	258	367	275	▲92	▲25.1%
インターネット	133	114	113	119	91	88	180	+91	+104.2%
海外広告	8	15	▲12	21	11	5	37	+31	+536.6%
海外製アプリ	▲14	8	▲1	7	17	104	186	+82	+78.4%
国内製アプリ	-	-	-	-	-	42	13	▲29	▲68.2%
その他CP等	39	▲22	▲1	▲9	▲20	▲25	▲9	+15	-
消去又は全社	▲200	▲144	▲184	▲167	▲196	▲182	▲221	▲38	-
合計	239	252	152	210	162	400	462	+61	+15.3%

当四半期より開示セグメントが変更となり、開示上はモバイル、スマートフォン、インターネットなど国内広告事業は広告事業となっております。

当社グループの従業員数 四半期推移

(単位：名)



■ 日本アドウェイズ	166	163	169	172	188	190	207	208	213
■ 中国アドウェイズ	61	64	63	74	78	77	89	115	133
■ 中国開発センター	82	82	76	88	86	86	96	131	139
■ コンテンツグループ	38	37	37	40	38	40	40	51	56
■ 東南アジアアドウェイズ	-	-	-	-	-	-	24	52	84
合計	359	346	345	374	390	393	456	557	625

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ（英名：Adways Co., Ltd.）

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット広告事業

代表者氏名 岡村 陽久

資本金 1,478百万円 [2011年12月末日現在]

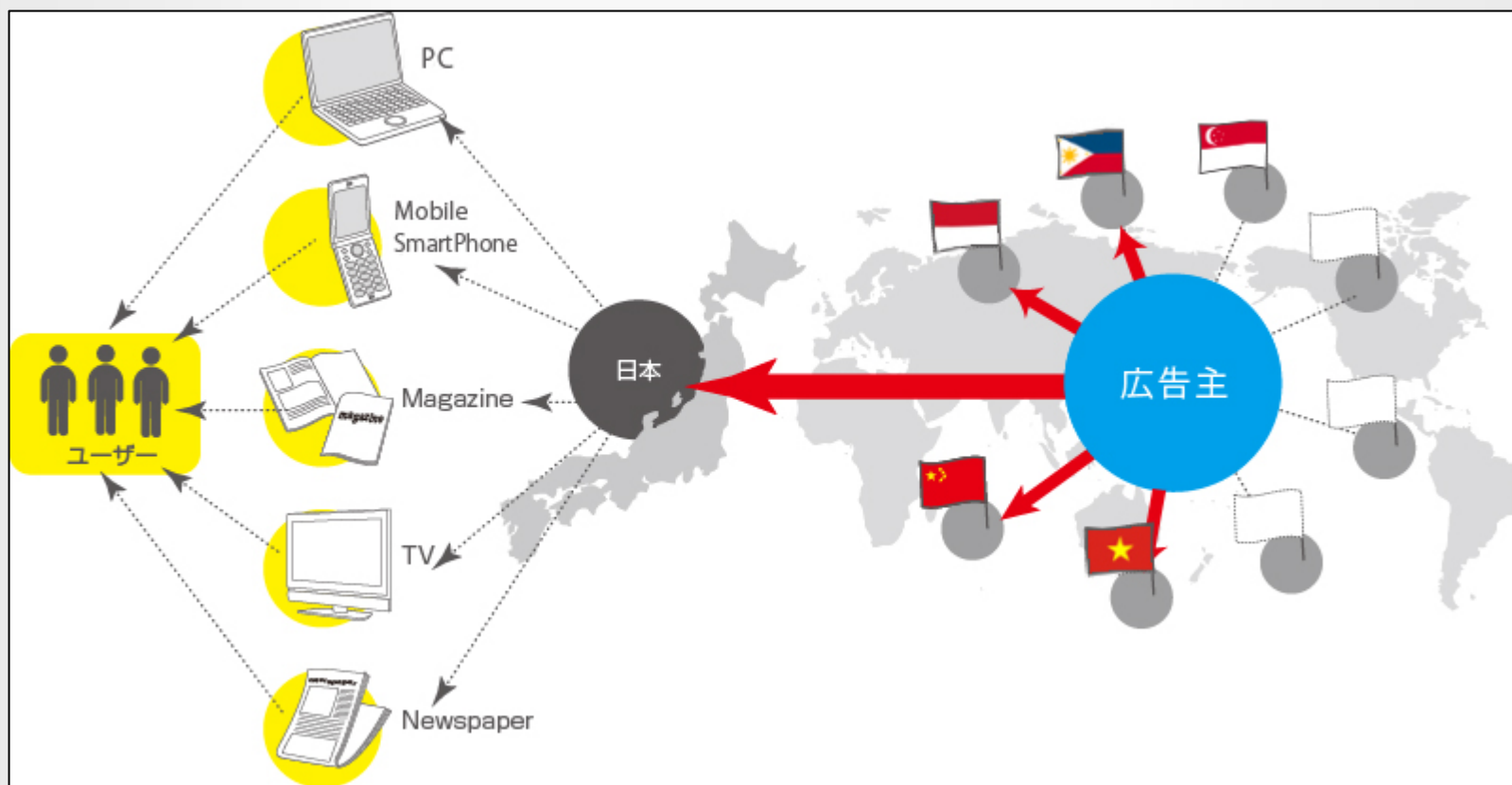
売上高 15,907百万円 [2011年3月期連結]

従業員数 625名（臨時雇用者除く） [2011年12月末日現在]

■ 経営ビジョン

『世界のインターネット商社になる』

PC・モバイルだけでなく、あらゆるメディアにアフィリエイト広告を拡大させ、アフィリエイト広告を日本・中国だけでなく、全世界へ浸透させる。



本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははいまだに知られていないリスク、不確かさその他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2012年2月3日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。